

スペイン美術を代表する3巨匠のセラミック作品を堪能！
ミケル・バルセロが信楽で制作した作品を国内の美術館にて初公開！！
ヨックモックミュージアム「ピカソ・ミロ・バルセロのセラミックーカタルーニャへの愛ー」展
2026年2月10日(火)～2026年12月20日(日)開催

ヨックモックミュージアム（東京都港区、代表理事：藤縄洋子）は、2026年2月10日(火)～2026年12月20日(日)の期間、「ピカソ・ミロ・バルセロのセラミックーカタルーニャへの愛ー」展を開催します。

監修にスペイン美術研究者の松田健児先生（まつだ けんじ、慶応義塾大学教授）をお迎えし、スペイン美術を代表するパブロ・ピカソ、ジュアン・ミロ、ミケル・バルセロのセラミック作品を中心に、彼らがカタルーニャという土地といかに深く結びついていたか、カタルーニャに寄せたそれぞれの思いのかたちをご覧ください。展覧会です。

**ピカソ・ミロ・バルセロのセラミック
ーカタルーニャへの愛ー**

Devotion to Catalunya: CERAMICS OF

**PICASSO, MIRÓ,
BARCELÓ**

2026 2.10 TUE - 12.20 SUN



展覧会名： ピカソ・ミロ・バルセロのセラミックーカタルーニャへの愛ー
監修： 松田健児（まつだ けんじ）氏、（慶応義塾大学教授）

会場、主催： ヨックモックミュージアム（東京都港区南青山6-15-1）
会期： 2026年2月10日（火）～2026年12月20日（日）
月曜休館（ただし月曜が祝日の場合は翌平日）
10:00-17:00（入館は閉館の30分前まで）

後援： スペイン大使館／インスティトゥト・セルバンテス東京
港区教育委員会

特別協力： 株式会社ヨックモック

- * 展覧会名（日）の「ピカソ・ミロ・バルセロ」の間は全角ナカグロ
- * 展覧会名（日）の「ー」は全角ダッシュ／全角ダース／emダッシュ、両脇スペースなし
- * 展覧会名（英）の「Devotion to Catalunya」の後は半角でコロンと半角アケ

カタルーニャは地中海に接するスペイン北東部に位置する自治州で、スペイン内戦における独裁政権下、さまざまな文化を弾圧される厳しい状況にあっても自治を希求し続けた歴史を持つ土地です。

パブロ・ピカソは、その青春時代の一時期をカタルーニャの州都バルセロナで過ごし、スペイン内戦を経て自発的亡命者となったのちも、第二の故郷とも言えるカタルーニャへの協力を惜しみませんでした。ピカソの後を追うようにしてバルセロナからパリへ出たジュアン・ミロもまた、カタルーニャのモンロッチが自らの創作の源泉であり原風景であると語っています。そして、マジョルカ島フェラニチ出身のミケル・バルセロと、人生の後半を同島の palma・デ・マジョルカで過ごしたミロとは文化や風景を深く共有しています。加えて、ピカソとミロはバルセロにとって敬愛すべき同郷の先達であり続けています。セラミックという同じプラットフォームにあって、まったく異なる三者の表現は、それぞれのカタルーニャへの愛という共通項によって結びついています。

また、本展覧会では、ミケル・バルセロが信楽の陶芸家である古谷和也（ふるたに かずや）とともに制作したセラミック作品を国内の美術館にて初公開いたします。スペイン 20世紀を代表するピカソ、ミロ、そしてその次世代を担うバルセロという彩りゆたかな三巨匠によるセラミックの表現をお楽しみください。

1章 パブロ・ピカソのセラミックとカタルーニャ

ピカソ（1881－1973）は、スペイン内戦が勃発して以降、フランシスコ・フランコによる独裁政権と対立し、フランスの地で自発的亡命者として生きることとなります。スペイン中央政府に協力することはなかった一方で、青春を過ごしたバルセロナと、そこに生きる友人たちへの援助は惜しみませんでした。1955年に同地で開催された「スペイン美術の先駆者と巨匠たち」展には、ピカソの友人である彫刻家マノロ・ウゲの所蔵するピカソのセラミック作品が出品されました。本章では、現在はバルセロナ・ピカソ美術館に所蔵されているマノロ・コレクションと同エディション、同タイプの作品をヨックモックミュージアム所蔵作品より展示します。また、1957年にピカソ自らがバルセロナ市に寄贈した16点のセラミック作品、そして1982年にピカソの妻ジャクリーヌ・ロクによってバルセロナ・ピカソ美術館に寄贈されたセラミックのエディション作品についても、当時の公文書や、戦後カタルーニャでのピカソ作品受容に貢献したガスパール画廊の資料とともに紹介します。

2章 ジュアン・ミロのセラミックとカタルーニャ

スペイン内戦中、フランスに戦禍を逃れたジュアン・ミロ（1893-1983）は、第二次大戦が勃発するとドイツ軍のフランス侵攻から逃れるため、スペインへの帰国を決意します。ピカソと同様にスペイン共和国政府に賛同したミロは、フランス独裁体制下のスペインでは十分に活動することができませんでした。そのような環境で、1944年以降、古くからの友人である陶芸家ジュゼップ・リュレンス・アルティガスとの共同制作をきっかけに、セラミックもまたミロにとって重要な表現手段のひとつとなっていくます。カタルーニャでなされたミロのセラミック制作には、ジュゼップだけでなく、その息子であるジュアン・ガルディも大きく貢献しました。本章では、ミロとアルティガス父子が共同で制作したセラミックのほか、ミロによるブロンズ彫刻やアルティガス父子自身のセラミック作品、そしてこの時代のミロとカタルーニャの結びつきを物語るポスター作品等を展示します。

3章 ミケル・バルセロのセラミック 信楽での試み

ミケル・バルセロ（1957-）は、現代スペイン美術を代表する芸術家といって過言ではありません。2021年から翌年にかけて、長崎、三重、大阪と巡回した「ミケル・バルセロ」展をきっかけに来日したバルセロは、2022年と2023年に続けて信楽を訪れ、当地の陶芸作家である古谷和也とともに作陶にいそみしました。本展では、バルセロが信楽で制作したセラミック作品を、国内の美術館で初めて展示します。あわせて、挿絵本、版画など、バルセロによる様々な制作活動の一端を示す関連作品を紹介します。また、世界的な名声を誇るサッカークラブであるFCバルセロナは、設立75周年をむかえた1975年、記念ポスターの制作をジュアン・ミロに依頼しています。クラブは設立125周年を迎えるにあたり、このポスターにバルセロを起用しました。本展では、この両者のポスター作品もともに展示します。

■ 展覧会特設サイト（作品画像はこちらでご覧いただけます）

<https://yokumokumuseum.com/5009/>

松田健児（まつだ けんじ）氏（慶応義塾大学教授）

熊本県生まれ。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業、学習院大学大学院博士後期課程退学、マドリード・コンプルテンセ大学博士課程単位取得退学。慶應義塾大学商学部教授。専門はスペイン美術史。著書に『スペイン美術史入門』（共著、NHK出版）、『もっと知りたいピカソ 改訂版』『もっと知りたいミロ』（ともに共著、東京美術）、『スペイン 危機の20世紀』（共著、慶應義塾大学出版会）、『タリ作品集』（監修・共著、東京美術）。



入場料（税込）

一般 ￥1,400
大学生 ￥1,000 高校生以下無料

※学生の方は学生証等の在籍が確認できるものをご提示ください。

※障がい者手帳をご提示の場合、ご本人と付き添いの方1名は無料。

※団体割引をご希望の方は、条件をご確認ください。

※お得に入館できる情報は公式サイトでご確認ください。

公式サイト <https://yokumokumuseum.com/>

同時開催（上記入場料に含まれます）

- ・常設展「ヨックモックコレクション 2026」
- ・その他、特別展示等の情報は随時公式サイトでお知らせします。

関連催事

本展の開催に伴い、会期を通して記念講演会、ギャラリートーク、ラーニングプログラム「ピカソdeアート」、学校連携プログラム等を開催します。最新情報は公式サイトや公式SNSでご確認ください。

■ギャラリートーク



学芸員が参加者と一緒に展示室をまわりながら、企画展の魅力やエピソードなどをご紹介します。（入館料のみ。毎月第1、第3金曜日の11時から30分程度）

■講演会



誰しもが驚きと発見に出会う場として、様々なアーティストや文化人をお招きして講演会を開催します。（年1回ほど）

■ワークシートを活用したギャラリートーク「ピカソdeわくわくワークシートツアー」



教育普及担当学芸員監修のワークシートを活用し、企画展を巡ります。ピカソのユーモアあふれるセラミック作品を通して、個々の発想の面白さや豊かさを体験します。（入館料のみ。不定期）

■赤ちゃんと一緒に気兼ねなく展覧会を楽しめる「ピカソdeここにこベビーカーツアー」



ピカソの遊び心あふれるセラミック作品を親子で気兼ねなく楽しめるよう、参加者のペースに合わせて、教育普及担当学芸員とサポートスタッフと共にゆっくりと展覧会を巡ります。（入館料のみ。不定期）

■ギャラリートークとワークショップをWで楽しめる「ピカソdeアート」



ピカソの創造性に着目した、ヨックモックミュージアムならではのオリジナルワークショップです。様々な分野で活躍するアーティストやパティシエとのコラボ企画を実施していきます。（不定期）

■中学生以上の学生を対象とした学生応援プロジェクト「ピカっと！スチューデント」



学生世代が美術館を活用する第一歩として「見ること」と「作ること」を組み合わせた当館オリジナルのプログラムです。当館をきっかけに、学生たちが美術館を身近で楽しい存在と感じ、生涯にわたる心の拠り所となることを目指しています。（随時）

会場概要

ヨックモックミュージアム <https://yokumokumuseum.com/>

住所：〒107-0062 東京都港区南青山6丁目15-1

アクセス：東京メトロ「表参道」駅B1出口から徒歩9分

渋谷駅東口より51番のりば都営バス「01系統」乗車、「青山学院中等部前」下車、徒歩1分

※駐車場はありません。

電話番号：03-3486-8000

Instagram：https://www.instagram.com/yokumoku_museum/

Facebook：<https://www.facebook.com/yokumokumuseum/>